

平成22年2月26日

各位

上場会社名 株式会社 イムラ封筒
 代表者 取締役社長 井村 守宏
 (コード番号 3955)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 福塚 昌義
 (TEL 06-6910-2511)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年1月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	24,500	310	390	290
今回発表予想(B)	23,940	95	200	65
増減額(B-A)	△560	△215	△190	△225
増減率(%)	△2.3	△69.4	△48.7	△77.6
(ご参考)前期実績 (平成21年1月期)	25,120	△116	△84	△415

平成22年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	22,700	240	310	280
今回発表予想(B)	22,100	20	100	50
増減額(B-A)	△600	△220	△210	△230
増減率(%)	△2.6	△91.7	△67.7	△82.1
(ご参考)前期実績 (平成21年1月期)	23,228	△124	△70	△390

修正の理由

売上高につきましては、封筒事業、メーリングサービス事業ともに、上期においては選挙関連ならびに定額給付金関連といった官公庁関連の需要増加がありました。下期においてはメーリングサービス事業において衆議院選挙関連需要が発生したものの、民間需要が予想以上に落ち込み、加えて、官公庁需要が価格競争の影響で低調に推移するなど、極めて厳しい状況となり公表予想を下回る見込みとなりました。

営業利益につきましては、コスト削減に努めてまいりましたが、減収による落ち込みをカバーするには至りませんでした。なお、経常利益につきましては、営業外収益として持分法による投資利益を計上する予定であります。

また、特別損失として投資有価証券評価損を57百万円、子会社において減損損失を51百万円、それぞれ計上する予定であります。

以上の理由により、平成22年1月期通期の業績予想を修正いたします。

なお、配当につきましては、当初の予定通り、1株当り中間配当、期末配当ともに2円の年間配当4円を維持する予定であります。

以上